

迎春



年頭にあたって



沼田市長
横山 公一

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍により、2年続けて各種イベントなどの中止を余儀なくされ、また、緊急事態宣言の発令による外出自粛など、市民生活に大きな影響がありました。

これまで経験したことの無い混乱の中、本市では「コロナとともに新たな沼田へ」を念頭に、沼田市電子地域通貨「ten-go（てんごー）」の本格稼働などの経済対策や、ワクチン接種をはじめとした感染症対策に積極的に取り組んでまいりました。「ten-go」については、1万7千人を超える皆さんにご利用いただいております。ワクチン接種について

は、実に約9割の市民へ1、2回目接種が完了しております。教育・文化に関する事業としては「サンワ沼田武道館」を11月より供用開始したほか、10月に「ヌマタ・アート・アンバサダー」を委嘱し、文化・芸術の風薫るまちづくりに取り組んでいるところです。市政運営においては、地域活動の拠点となる地区コミュニティセンターを設置しました。地域に根ざした市民活動を応援し、皆さんと一体となって市民協働のまちづくりを推進しています。

まだ予断を許さない状況が続いていますが、引き続き感染症への対応を行いながら、これからはコロナ後の市民生活を見据えた施策が必要であると感じております。

本年は「コロナを超えて、未来につなぐ持続可能なまちづくり」をキーワードに、ワクチン接種の着実な進展や新しい生活様式の実践、市内経済の活性化および生活基盤の整備など、市民生活の安定と向上に資する施策の充実を図り、市民の皆様との連携・協働の下「こころ豊かに暮らし、幸せを実感できるまちづくり」に取り組んでまいります。

結びに、新しい年が皆さまにとって実り多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年を迎えて



沼田市議会議長
久保 健二

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、議會を代表し心よりお喜び申し上げます。

おとしより新型コロナウイルス感染症による世界規模の混乱が続いていますが、ワクチン接種が奏功し、私たちの日常生活も落ち着きを取り戻しつつあります。経済活動もようやく再始動を始めたばかりですが、観光業や飲食業をはじめ、多業種にわたり大きな影響を及ぼしています。

こうした中、昨年夏に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、本市出身の田村紀佳選手がフェンシング女子サーブル団体に出場し、5位入賞を果たしたことから、その功績をたたえて本市3人目のスポーツ

賞が贈られました。1年間の開催延期、また緊急事態宣言発出の最中での開催という逆境にありながらの入賞は、新型コロナウイルス感染症を吹き飛ばしてくれるような明るいニュースとなり、私たちに夢や希望を与え、努力がいつかきつと実を結ぶものであるということを教えてくださいました。

かつて経験したことがない世界的混乱を招いたコロナ禍は、私たちの苦労や努力が実りいずれ克服され、疲弊した社会経済も復興とさらなる成長を遂げるものと思っております。

本年も引き続き市民の皆さまの安心、安全を最優先に考えながら、市内経済の回復とさらなる発展のため、執行部とともに市政を担ってまいりたいと思っております。そして、皆さまに寄り添い、共に歩みながら、より良い市政となるよう、議會において日々議論を重ねてまいります。

誰もが暮らしやすいまちづくりの実現を目指し、民意を市政に反映させるよう一層努力いたしますので、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年が皆さまにとりまして、明るく希望に満ちた輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。